

平成30年度第1回 近江八幡市公共下水道事業審議会 会議録

開催日時 平成30年6月5日(火) 午前11:30 ~ 12:00
開催場所 近江八幡市役所 本庁4階 3・4委員会室
出席者 ◎山田会長、○田中副会長、
西谷委員、野田委員、梅村委員、水口委員、辻委員
欠席者 小椋委員
事務局 水道事業所 姓農所長、津田課長
【経営G】岡田補佐、村松副主幹、 【業務G】西川補佐、門副主幹、
【下水道G】林補佐、 【上水道G】植村補佐
傍聴者 3名

内 容

事務局 定刻となりましたので、ただ今から第1回近江八幡市公共下水道事業審議会を開催させていただきます。よろしくお祈いします。本審議会は、お手元の次第に従いまして進行させていただきます。本日の委員会の終了時間は、12時を予定しております。なお、本日の会議につきましては、近江八幡市会議の公開に関する取扱要綱に基づき、会議を公開としております。傍聴者におかれましては、先にお渡しした「公開の会議の傍聴に係る遵守事項」を遵守くださいますよう、お祈いします。それでは、審議会の開催にあたり、水道事業所長がご挨拶申し上げます。

所 長 引続き、お暑い中、大変申し訳ございませんが、ご議論の程よろしくお祈いいたします。下水道につきましても様々な要因から課題が山積しています。国の方では下水道の予算を削減するという動きもございまして、県下の市町では動揺も広がっております。本市におきましても様々な課題がございますけれども、よろしくお祈い致したいと思ひます。以上でございます。

事務局 ありがとうございます。今回市長から、委員会に対して諮問書が出されていますので、市長に代わり所長から委員長へお渡しさせていただきます。(諮問書手渡し)

事務局 ありがとうございます。それでは、運営委員会の開催にあたり、山田会長からごあいさつをお願いします。

会 長 皆さま、水道事業運営委員会に引続き、ご審議のほどよろしくお祈いいたします。いま、下水道のほうも諮問を受けました。汚水の方は流域下水道で県の浄化センターへ送っているのですが、その他に雨水もあります。公営企業として雨水は含まれてないのですが、全体として財政的には厳しい状況ですので、しっかりご議論していただきたいと思ひます。どうぞ一つよろしくお祈いいたします。

事務局 はい、ありがとうございます。この後の議事進行につきましては、会長にお祈いしたいと存じます。会長よろしくお祈いいたします。

会 長 それでは、事務局から「(1) 近江八幡市公共下水道事業の概要について」説明願ひます。

事務局 (資料1：近江八幡市公共下水道事業の概要 説明)

会 長 ただいまの事務局からの説明に関し、委員のみなさまから何かご質問はございますか。よろしいでしょうか。続きまして、「(2) 平成30年度予算・事業概要について」説明願ひます。

事務局 (資料2：平成30年度近江八幡市下水道事業会計予算について 説明)

会 長 ただいまの事務局からの説明に関し、委員のみなさまから何かご質問はございますか。

委員 人件費はどのように分配されているのですか。といいますのは、上下水道が一体の事業体では、下水道の運営が厳しいため、人件費を水道事業会計で負担している所もあります。

事務局 本市では、それぞれの事業ごとに人件費を割り振っています。

委員 2017年4月から企業会計に移行されましたが、何か問題は発生していますか。

事務局 現在、決算整理中ですが、減価償却費に比べて企業債残高が多いため、キャッシュが不足し、一般会計からの繰入が必要になります。

委員 それは、資金フロー、キャッシュの動きが見えにくくなるということですか。

事務局 いえ、これまでは借金の多さが不明確でしたが、企業会計化したことにより、借金の多さははっきりとし、下水道事業運営の厳しさを改めて再認識したという意味です。

会長 よろしいでしょうか。続きまして、「(3) 下水道総合地震対策編について」説明願います。

事務局 (資料3：下水道総合地震対策編(概要版) 説明)

会長 ただいまの事務局からの説明に関し、委員のみなさまから何かご質問はございますか。よろしいでしょうか。それでは、協議事項に入ります。「(1) 平成29年度下水道事業会計決算見込について」説明願います。

事務局 (資料4：下水道事業会計決算見込(概要) 説明)

会長 ただいまの事務局からの説明に関し、委員のみなさまから何かご質問・ご意見はございますか。

委員 企業債は返しきれなかったということですか。

事務局 企業債償還の差額については、4条の資本費平準化債により、一般会計からの繰入により返済しました。

委員 減価償却費についても、工事が増えると返しきれないのではありませんか。

事務局 前年に比べて10億円減らしています。企業債償還額以内に抑えるようにしています。

会長 よろしいでしょうか。続きまして、「(2) 下水道経営戦略について」説明願います。

事務局 (資料5：下水道経営戦略について 説明)

会長 ただいまの事務局からの説明に関し、委員のみなさまから何かご質問・ご意見はございますか。

委員 経営戦略の中で農業集落排水事業は、どのような位置づけにされるのですか。

事務局 農業集落排水事業の位置付けについては、今後検討して参ります。

会長 その他、ご意見・ご質問等はございませんか。なければ、本日の次第は全て終了いたしましたので、以後の進行については事務局でお願いします。

事務局 会長、進行につきましてありがとうございます。長時間にわたりまして、水道事業運営委員会、公共下水道事業審議会のご審議をくださいましてありがとうございます。閉会にあたりまして、副会長のご挨拶をお願いします。

副会長 下水道事業については、公営企業化により借金の多さが明白となり、繰入金なしには苦しいことがわかりました。また、これから経営戦略等を策定されるなかで、十分な協議をして参りたいと考えております。本日は、委員の皆さまにおかれましてはご多忙の中ありがとうございました。

事務局 以上で公共下水道事業審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。